

# 週報

三島南ロータリークラブ



三島南ロータリークラブ

会長 田中四史生

クラブ会長基本テーマ

「みじかな奉仕を  
たいせつに」

2006～2007年度  
国際RI会長 ウィリアムB.ボイド

会長 田中四史生  
副会長 古屋憲男  
幹事 矢岸貞夫

事務所 三島市大社町17-4  
TEL 055-976-6351 FAX 055-976-6352  
URL: <http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル TEL 055-975-4300  
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

撮影 箱根山石原



RI会長テーマ:「率先しよう」

## Rotary Club of Mishima-South Weekly Report

### ●第831回 例会 2006.10.12 晴れ●

#### 例会場：米山記念館

司会 遠藤 正亀君 指揮 宮澤 正昭君  
ロータリーソング 「我等の生業」

#### 会長挨拶

会長 田中四史生君

10月は職業奉仕月間と米山月間です。今日は、中村米山委員長の卓話です。身近に米山記念館もあり、是非勉強のつもりで聞いていただきたいと思ひます。

矢岸幹事と石井青少年育成委員長より話しが有ると思ひますが、三島市立北中学校とミセスアモーレの合同演奏に全員参加で応援をお願いします。多方面で奉仕活動とRCの広報活動を年間を通して実践して下さいます。

今回は、当クラブよりお願いした演奏でも有り、ミセスアモーレの皆さんに感謝の気持ちをささげたい旨ご理解下さいますようお願い致します。

#### 幹事報告

幹事 矢岸 貞夫君

### ●11月18日～19日 地区大会参加者名簿

名前	役職名
①田中四史生	会長
②矢岸貞夫	幹事
③古屋憲男	クラブ奉仕委員長
④野中信行	直前会長(情報委員)
⑤根津延和	国際奉仕委員長
⑥木内松夫	社会奉仕委員長
⑦西原克甫	副幹事
⑧澤田 稔	会計
⑨内田憲一	会員増強
⑩石井邦夫	青少年育成委員長
⑪宮澤正昭	親睦副委員長
⑫望月保延	会場監督副委員長
⑬芹沢弥生	親睦委員
⑭宇都宮満子	事務局員

(※田中、矢岸、古屋、内田、宇都宮 18日泊まり)

#### ゲスト・スピーカー

●蔡 飛 さん (米山奨学生)

#### 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前回	33/39	84.62%	36/39	92.31%
今回	26/39	66.67%	会員総数	40名

(欠席者) (※あなたが見えなくて残念でした。)

石井(明)君 太田君 金沢さん 鈴木(田)君 西山さん  
根津君 古屋君 保坂君 松下君 望月君 山上君  
米山君 渡辺君

#### スマイルボックス

◇内田憲一君:連続の欠席申し訳ありません。先週、山形 米沢市に行ってきました。三島が28℃でしたが、米沢は10℃しかありませんでした。米沢でカゼを引きました。39.3度まで熱が上がり、菌が胃に入り、又肝臓にも入って微熱がまだあります。毎日点滴をやりまして、少しおさまりました。知らない土地で救急入院して心細かったです。皆様もくれぐれ知らない土地では気をつけて下さい。

#### 委員会報告

##### ●出席委員会

岡 良森 君

9月の出席率がまとまりましたので以下のとおり報告します。

	出席率	修正出席率
Aテーブル	80%	89%
Bテーブル	96%	100%
Cテーブル	77%	89%
Dテーブル	83%	96%
Eテーブル	83%	100%
Fテーブル	89%	96%

全体としては190/198で、96%でした。

尚、今月末でテーブルメンバーが替わりますが、4ヶ月分の集計結果は来月報告します。

●青少年育成委員会 委員長 石井 邦夫 君

ミセス・アモーレ演奏会

10月24日(火)三島文化センター大ホールにて、北中合唱祭が行われます。

13:00 開会式

14:25頃 ミセス・アモーレ&特別クラス  
(障害者)の合同演奏

☆特別クラスが演奏する「トーンチャイム」は  
南ロータリークラブの寄贈品です。

15:00 ハンドベル演奏  
(ミセス・アモーレ&大石光男、由紀子)

●お手伝いを含め、当日メイキャップになりますので、多数の方々の参加をよろしくお願ひします。

日 時： 平成18年10月24日(日)  
午後2:00頃  
場 所： 三島文化センター大ホール

●国際奉仕委員会 前委員長 山本 良一 君

■第4回タイ・アムナートチャルーン  
自転車贈呈事業参加予定者■

(H18年11月22日~26日)

沢田 稔・根津延和・兼子悦三・宮澤正昭  
片野誠一・望月保延・保坂国夫・小林 勝  
野中信行(団長)・土屋 巧・田中四史生  
岡 良森・山本良一(世話人)・望月家族  
古屋憲男・望月家族・望月家族・矢岸貞夫  
(18名)



撮影 山本良一君

卓 話

●三つの開国政策に沿う中国の輸出・  
投資主導型経済発展モデルの展開  
日本大学大学院国際関係研究科 博士前期2年  
蔡 飛 君

—概要—

中国経済は1978年に開国政策(改革・開放)を実施し始めてから、2004年の27年間に年平均約9.2%の経済実質成長を達成した。中国経済の高成長は、その主要な原因としては、輸出の促進と拡大、積極的に外資の導入、すなわち、輸出・投資主導型経済

展モデルを実行することによって実現したとって議論の余地がないだろう。本稿では、先行研究を基にして中国のその経済発展モデルを取り上げ、どのように展開されたのか、また中国社会においてどんなメリットやデメリットが生じたのかについて分析を試みたい。

本稿の課題は2つある。第1の課題はこの中国の輸出・投資主導型経済発展モデルの展開が三つの時系列的な開国政策の実施に沿って統計データを基に明らかにすること、第2課題はこの輸出・投資主導型経済発展モデルの実行によって中国社会に生じたメリットとデメリットを浮き彫りにすることである。

中国の経済発展モデルは、中国政府が実施した三つの開国政策にて、輸出・投資主導型が形成され、長期的な経済の高成長を支えてきたが、同時にさまざまなデメリットをもたらした。中国政府は、経済発展モデルの転換期を迎えることを十分に認識したうえで、2005年10月に第16期共産党中央委員会第五回全体会議で第11次5ヵ年計画を制定し、国内消費主導型経済発展モデルへ変えようとした。すなわち、ある意味では、第16期共産党中央委員会第五回全体会議は中国の旧経済発展モデルの終焉を宣告し、新たな経済発展モデルのスタートという象徴であると考えられる。これは本稿の主たる目的である。

具体的には、まず背景として、中国経済発展の概況を言及する。次に、中国は三つの開国政策に踏み切りを論述する。第3に、統計データを基にして、中国の対外輸出の促進かつ拡大はこの時系列的な三つの開国政策の実施に沿って実践し経済発展の牽引を果たすことを分析する。第4に、統計データを基にして、外国の対中直接投資はこの時系列的な三つの開国政策の実行に沿って拡大し、中国経済発展を支える重要なファクターとなることを分析する。

第5に、この輸出・投資主導型経済発展モデルの実施によって中国社会に生み出したメリットとデメリットを分析する。最後に本稿の主要な結論をまとめる。



米山梅吉翁 墓地へ。  
会員全員にて香を手向ける。